

糸子  
きずな

# 図書館ボランティアだより 第27号

2017年3月 阪南市立図書館フレンズ広報部会発行

## 目次

自由*空間	「私の趣味と夢」「和泉鳥取と鳥取県の地名のルーツ」	・・・ P2
ご存じですか	「中性脂肪を下げる効果がある「えのき氷」	・・・ P2
私のおすすめ	『雪の写真家ベントリー』『ななつの水晶球 タンタンの冒険旅行』 『里山のおくりもの』	・・・ P3
図書館からのお知らせ		・・・ P4

## 写真家今森光彦氏を阪南市に迎えて

さる二月二十九日、阪南市立文化センター大ホールで、五百二十人の聴衆に恵まれ、写真家今森光彦講演会を、また講演会をくださったので二十七日から三十一日までは展示室で「阪南市の自然」写真展を開催しました。平成二十八年年度の環境保全促進助成事業であり、モーターボート競走施行者協議会からの拠出金により実施することができた事業です。

大阪府に対して、この事業の申請をあげたのが平成二十七年の十月。選ばれるのは府下で一市のみということで、申請が通るとは思ってもおらず、お金があったらこんなイベントをしてみたい、と楽しく夢を描いてみたのでした。図書館で環境保全というなら、里山や昆虫等、自然の写真集を多く著しておられる今森光彦先生を招きたい、講演会では著書サイン会もあってほしい、海と山に恵まれた阪南市の写真公募し、その写真を今森先生にお見せして、阪南市のすばらしさを自慢したいし、写真にコメントももらえたらいいな・・・と。思いがけず内定通知が来てからは、夢を

現実にするのが大変でした。けれども、図書館には心強い味方がありました。「自然と本の会」は、写真展の広報や展示他への協力にとどまらず、今森先生を阪南里山スポーツへ案内。「阪南市子ども文庫連絡会」「阪南市おはなしの会」は、著書やグッズの販売を担当。「図書館フレンズ」有志の七人は、来場者への駐車場案内を引き受けてくださいました。切り紙作品を提供してくれました今森ファンもいます。もちろん、写真展への応募者や、講演会に参加してくださった皆様にも大感謝です。

阪南市立図書館館長

加藤 靖子



田舎に帰って「何処に住んでいるの?」と聞かれて、「阪南市の鳥取・・・」と返事すると、「エ! 鳥取県の何処?」と聞き返されることが多い。

「鳥取」という名称は、北は北海道から南は熊本まで十五の道府県に見ることが出来る。

しかし、名称としては和泉の鳥取のほうが、由緒があるのではといわれている。

古代阪南市一帯は、和泉国日根郡鳥取郷と呼ばれていた。「日本

書紀」には垂仁天皇の第一皇子で話すことのできない蒼津別王の為に、紀伊国から出立した天湯河板拳が白鳥を捕まえて献上したところ、皇子が言葉話せるようになった。天皇が喜び鳥の捕獲を業とする鳥取部を定め、鳥取造の姓と土地を与えたのである。

文献によると、鳥取県の地名は、九三〇年頃の承平年間に編まれた「和名類聚抄」に「因幡国邑美郡鳥取郷」と見えるのが最初である。

一方、阪南市鳥取の地名は日本最古の歴史書「古事記」の「垂仁天皇の皇子・印色入日子命が鳥取の河上宮に座して・・・」は阪南市のことであるとされ、七四七年の「法隆寺伽藍縁起并流記資材帳」にも「河内日根郡鳥取郷深日松尾山」と鳥取の地名を見ることが出来る。以上のことから、全国に残る地名のルーツも阪南市の鳥取にあるのではないかと推測されている。(資料 実業之日本社『南海沿線の不思議と謎』 T・Y

## 自由空間



私の趣味は、これまで続けてきた「硬式テニス」、定年後に始めた「手話」と「ピアノ演奏」です。硬式テニスは、三〇年くらい経験を積んでいます。力量については自慢できるものではありません。楽しく健康維持のために続けています。

手話は、定年後の仕事として介護ヘルパーを目指した時、「聴覚障がい者の生活」に興味を持ち勉強することになりました。手話を

始めてもう一〇年を超えますが、手話には方言があり、個人差があり、私個人の年齢による記憶力の低下、もの忘れの速さ等の難題でなかなか上達はしません。手話サークル活動や聴覚障がい者協会が計画する社会見学等に参加し、この頃やっと話し合いが出来るようになり喜んでいきます。

ピアノ演奏は、私に無かった静的または知的な側面を補う目的で始め、これも一〇年を超える期

間となりましたがなかなか上達するのが難しいものです。しかし、毎日一時間程度の練習と月二回の教室は徐々に演奏力を高め、「継続は力なり」のことわざ通りに自己満足の世界ですが夢を持たせてくれます。

夢は、健康で元気にテニスを続けることですが、仏様が許してくれるなら、「一〇〇歳でピアノ演奏!」を最終の夢にしている欲張りな私です。 堀正夫

## 《ご存知ですか》 中性脂肪を下げる効果がある「えのき氷」

以前、私は中性脂肪が200以上ありましたが、えのき氷で130程度にまで下げることができています。「えのき氷」はえのき茸を1.3倍の水と共にミキサーで碎き、70°C以下で30分加熱し、製氷皿で氷結させます。毎日の味噌汁に氷一個ずついれればOKです。えのき茸は、成分のキノコキトサンに余分な脂肪分

を排泄させる効果がありますが、細胞壁が硬いため多くが排出されてしまいます。粉碎・加熱・冷凍する過程で細胞壁が破壊され吸収されやすくなります。

中性脂肪を下げる以外にも生活習慣病、糖尿病、加齢臭などに効果があると言われていています。皆さんも試してみませんか! KAZU

『雪の写真家 ベントレー』

J・B・マーティン作 M・アゼアリアン絵

千葉茂樹訳 BL出版 E

『ななつの水晶球』 タンタンの冒険旅行6

エルジェ著 川口恵子訳

福音館書店出版 えほん/E/

私のあそび

高等教育を受けていない農夫でありながら、世界的な雪の専門家となったウィルソン・ベントレーの伝記絵本である。彼は一八六五年アメリカの豪雪地帯の村に生まれ、幼いころより雨つぶや雪に興味をもち観察を続けた。一五才の時古い顕微鏡で見た雪の結晶の美しさに魅了されスケッチを

描く。一七才の時、高価な（雌牛一〇頭と同額）顕微鏡付きカメラを父母に買ってもらい、工夫を重ねて美しい雪の結晶を撮り続け、それに一生を捧げた。彼の写真は地域の人たちも楽しんでだが、大学の講義でも使われ、その後写真集「雪の結晶」として出版され、雪の美しさ神秘的な魅力を世

界中に広めた。人工雪実験で有名な中谷宇吉郎氏はこの写真集に刺激され、研究に着手した。  
小林禎作著『雪の結晶 冬のエフエメラル』二四頁、三八頁にベントレーの雪の結晶の写真と記念碑が掲載されている。

谷本 美由貴



永橋ひかり

図書館司書

エルジェって日本のことちよっと意識していてくれたみたいで、そのこと言いたくて寄稿します。  
『青い蓮』の極悪人ミツヒラトやヤマト、『金のはさみの力』の横浜署刑事倉本文治の他、この『ななつの水晶球』一三頁ラストのコマに刀を抜いたサムライ（役者）がいたり『紅海のサメ』三六頁船上仮装パーティでキモノ姿に扮した女

性がいたり（そりりではなく下駄を履いているところが「愛嬌」）。  
世界にあつては、日本と中国が混同されがちなどころなのに、エルジェははっきり区別してくれているなあと思います。  
こんなことってチエコ作家チャペック（「ロボット」という言葉はこの人が作った）の児童書『長い長いお医者さんのはなし』に

載っている一番最後のおはなしで、日本の芸術性の高さを名指しで称えているのを見て以来、って感じです。  
もっとも、他の国の人にも、その国の人や物が出てきていて嬉しく感じられるコマが、ちよこちよこあるのでしょうか、ね、わかる人にしかわからないって世界ですねえ。かもしれませんね。

《児童書》 『里山のおくりもの』 今森 光彦 / 著 世界文化社出版 K460

先日、サラダホールで「写真家今森光彦講演会」が開催されました。自然が大好きで、里山が大好きで、その美しさをみんなに知ってもらっていつまでも残していきたい、そんな情熱がひしひしと伝わる講演会でした。

去年は、多くの方の講演会や原画展に触れる機会がありました。作者のお話を聞くと、その人の作品に対する思いがより強く感じられ、今まで気付かなかった細やかなこだわり

に、さらにその作品が好きになります。

この本は、子ども向けの絵本でありながら今森先生の里山に対する愛情が全面にあふれています。そのうえトノサマガエルやトンボタガメなど、子どもたちが思わず目を輝かせるような生き物が、ページに飛び出してきます。そして美しい棚田の風景に、思わず「きれい！」と声が漏れます。読み聞かせをすると、子どもたちの反応が楽しめる本です。 田村 章子



# 図書館でボランティアしませんか？

～平成29年度～

## 図書館フレンズ募集

老後・退職後に何か社会の役に立ちたいと思っている方、もう子どもの手も離れて、時間があるから何かしたいという方、図書館フレンズとして活動してみませんか？はじめての方も大歓迎。誰でもできる簡単な作業から、才能を生かせる作業までいろいろあります。

主な作業は、返却本を本棚・書庫に戻す作業、本の修理・清拭・装備、児童コーナーのコルクボードへの装飾作成、リサイクル関連、広報活動、生け花緑化整備です。詳しい作業内容や時間は、「図書館フレンズ募集」のチラシ裏面をご覧ください。

下記の説明会後に、入会するかどうか決めていただけますので、興味をもたれた方は、まず説明会への参加を申し込んでください。

説明会日時：平成29年 3月27日(月) 午後10時半～11時半

場 所：サラダホール2階・視聴覚室

申込期間：3月2日(木)～3月26日(日) 開館時間中 (電話申込可)

- \*無償のボランティアです。交通費等の支給はありません。
- \*ボランティア保険加入予定です。
- \*この説明会は、新規の方(阪南市に在住・在勤・在学の方)が対象です。
- \*図書館フレンズには、この募集期間以外にも随時加入できます。思い立った時にお声をかけてください。個別にご説明いたします。

お問い合わせは  
阪南市立図書館  
電話 072-471-9000  
図書館フレンズ事務局まで

### 図書館フレンズ部会紹介

～こんな作業です。

#### 書庫入れ

活動日：①毎週火曜 10時～12時。

②毎週金曜 11時～12時30分。

(12時まででもOK)

1階の開架室には約12万冊、3階にある書庫には約10万冊の収蔵能力があります。書庫は本の倉庫で、毎日たくさんの本を書庫から出しています。書庫から貸し出した本は、当然もう一度、書庫に戻さなければなりません。1冊ずつ、本を正しい場所に戻すという、地味な作業ではありますが、普段目にできない本に出会うことができます。また、1階の開架室は資料整理日に全部の本を見直していますが、書庫はなかなか整理が行き届かない状態です。そこで、時間が余った時には、書庫の整理作業をお願いしています。それぞれの本は背ラベルの分類番号(日本十進分類法による)・記号による定位置が決まっており、その場所に本を戻すことは、図書館では非常に重要な作業です。

書庫入れ担当の図書館フレンズさんは、「書庫に来ると、こんな本あるんや！って驚く時があるの。思わず借りて帰ったわ」と言っておられました。皆様も、よろしければお手伝いください。